

# アイムGENKI!

## 道場の教えのひとつ「軸を大事に！」

気がついたら、今年も暑い夏がきていて、気がついたらアイムGenki!を今年の1月から全く発行しておりませんでした。最近ではもっぱら道場もSNSを活用し、道場でのニュースがあるとインスタなどを使って情報発信をしておりましたので、ついアイムGenki!が疎かになっておりました。アイムGenki!はインスタやLINEでは伝えられない道場での重要なお話もお伝えするツールでございます。今後は心を入れ替えて定期的に発行してまいりますのでどうぞお読みいただければ幸いです。

さて、道場で子ども達に伝えていることの一つとして「軸を大事に！」というものがあります。空手の上達にはかせないのが「軸」で空手の稽古では先ずは軸を作ることが重要になってまいります。だんだんと軸が出来てきたら次にその軸の強化です。強く太い安定感のある軸を鍛えていきます。その軸からスピードのある力強い技が繰り出されるようになってきます。軸がしっかりしてくると、立ちかたも安定してきてふらつかなくなってきます。逆に軸がないと、立ち姿も弱々しく、ふらつきが目立ちます。力強い「軸」は特に基本と形の稽古で鍛えてまいります。

さて、軸を作っていくのは身体の中だけではないのです。自分自身の「軸」も空手稽古で形成していきます。そして、同じように太くてしっかりとした軸を育てていきます。この「軸」が行く行くの人生の指針となってくるのだと思います。

空手の技でも、軸がブレなければ、しっかりとした強い技となります。人生においても自分の軸がしっかりしていれば、その生き方もふれずに力強いものになるはずで、何があっても、何が起きても、崩れることのない「軸」があれば立ち上がれるし、前に進むことができるものなのです。

軸さえしっかりしもっていれば、技に対する稽古のやり方が変わっても、一見全く違ったことをやっているように見えても何の問題もないと言えます。軸とはいつでも原点に帰ることができる道しるべとなります。まさに人生においても同じだと言えます。たとえ、どんなに生き方が変わっても、自分の中の軸さえブレてなければ大丈夫なんです。それだけ軸というのは重要になってきます。皆様もご自身の「軸」を明確にお持ちですか？

古賀道場では、道場での稽古が一番重要であると教えております。和道流空手道と真剣に向き合うことで、何を気付き、何を得て、どう成長していくのか、というのが古賀道場で空手をやる一番大事なことでございます。なので大会を目指した稽古というものとはそれほど行いません。審査会の為の稽古と言うこともそれほど行いません。全ては日頃の稽古の確認のための機会であると考えます。審査会は今の自分の位置(位)を確認するための機会、大会などの試合は、文字どおり、今の自身の技量を試し合う機会、全ては自分自身の成長を目指すためのものであり、決して黒帯取得がゴールではなく、大会優勝が目標ではございません。道場の目標は全国大会出場でも優勝でもなく、多くの黒帯を輩出することでもなく、和道流の理念に則り「社会に貢献できる志をもった崇高な人格者の育成」でございます。全てはそのための手段であり、機会であると言えます。

子ども達は昇級審査や大会出場を目標に稽古に励みますが、それはそれで大いに結構なことでもあります。但し、我々指導者や保護者の皆様は、道場を目指すべき「道」をブラすことなく子ども達の健やかな成長を見守っていかねばならないと思っております。これが、古賀道場の「軸」となります。

子ども達がここでの稽古で培ってきた「力」が真に試されるのは、自分の足で人生を歩み始めてからであろうかと思えます。さて、7/30に開催されました「九州ブロックスポーツ少年団大会」では、出場した古賀道場選手たちは大いに活躍してくれました。そして、8月からはいよいよ、小中学生の全国大会、そして、和道流全国大会と大きな大会が続きます。これまで道場で培ってきたものを存分に試す機会とし、そして、更に大きな成長に繋げる収穫多い格好の機会とするために、思いっきり試合してきてもらいたいと思えます。

古賀道場では、我々指導者はもとより、保護者の方々と密に連携をとり、子ども達の大きな成長のサポートを全力で行い、軸をブラすことなく、未来永劫続いていくことをいつも願っております。

これから暑い夏が本番となります。もっとも暑い大会シーズンも到来です。挑戦する子ども達をしっかり応援していただければ幸いです。

# 九州ブロックスポーツ少年団空手道交流大会

令和5年7月29日(土)・30日(日)

鳥栖市民体育館



今年、2023年は九州ブロックスポーツ少年団大会は、佐賀県鳥栖での開催となりました。古賀道場としては、2019年、宮崎大会以来の出場となります。佐賀大会には、九州各県から14団体が出場し空手の試合はもとより、大会名のとおり、交流を深めることが出来ました。

古賀道場からは、小学5年生～中学生、15名が出場しました。佐賀大会と言うことで、開会式の選手宣誓は誠志朗君が堂々と努めてくれました。交流大会



とはいえ、九州各県から強豪道場も多く参加され、レベルの高い大会となりました。特に、沖縄県の形はそれがレベルが高く、沖縄から参加の団体には、あのオリンピック金メダリスト、喜友名さんが教える道場も参加させておりそのレベルの高さに驚かされました。沖縄県は組手も強く、古賀道場もかなりやられました。また佐世保の名門道場、尚武館も参加されており、組手でもレベルの高い試合を多く見ることができました。

それでも、強い古賀道場をしっかりとアピールしてきました！

小学4・5年女子組手では、咲稀が見事優勝すると、咲稀、貴恵、結乃の小学女子団体組手でも優勝となりました。中学1年生男子組手では、1位から3位までの4名が全員古賀道場という好成績を収めました。強い古賀道場を九州でアピールできました！

## 古賀道場の成績！

### 個人形

中学2・3年生女子形 第3位 小島 彩瑛

### 個人組手

小学5・6年生男子組手 第3位 小野 巧人

小学5・6年生男子組手 優勝 江島 咲稀

中学1年生男子組手 優勝 小野 蒼太

準優勝 末次 汰地

第3位 大坪 蒼生

久恒 遼也

### 団体組手

小学生女子団体組手 優勝 咲稀・貴恵・結乃

中学生男子団体組手 準優勝 誠志朗・遥輝

蒼太・汰地

## 会場設営から片付けまで

今回の大会、佐賀県から出場している団体が3団体ということで、会場設営から片付け迄、この3団体で行わなければなりませんでした。しかも、多くの選手を出場させている古賀道場としては多くの人員をと依頼がございました。

そんな中、古賀道場の子ども達、そして保護者さんが本当に協力していただき、前日の会場準備には、この大会に出場しない子たちや保護者の方にもお手伝いいただき、本当にスムーズに設営を完了することができました。また、大会運営のお手伝いや、大会後の会場撤収まで、最後のさいごまで古賀道場の子ども達、保護者の皆様方にお手伝いいただきました。

選手たちが試合で頑張ってくれただけでなく、大会準備、運営、そして後片づけまで、道場の皆様様が率先してお手伝いいただいていたのが本当に誇らしく思っております。

今後もチーム古賀道場として、いい大会を子ども達に体験させてあげられるよう、ご協力をお願いいたします。

感謝